

ネットワークソフトウェアに関するグローバルPBLプログラム

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2022年02月21日 ~2022年03月02日	日本	ドンア大学 明志科技大学 マレーシア・日本国際工科院 UCSI大学	・情報工学科 ・電子情報システム学科 ・学部2年生 ・学部3年生 ・学部4年生	(芝浦工業大学) 学生8名、学生バイト5名、 教員5名、職員2名 (ドンア大学) 学生10名、職員2名 (明志科技大学) 学生17名、教員1名 (マレーシア・日本国際工科院) 学生5名 (UCSI大学) 学生9名	三好 匠(電子情報システム学科) 福田 浩章(情報工学科) 山崎 託(電子情報システム学科)

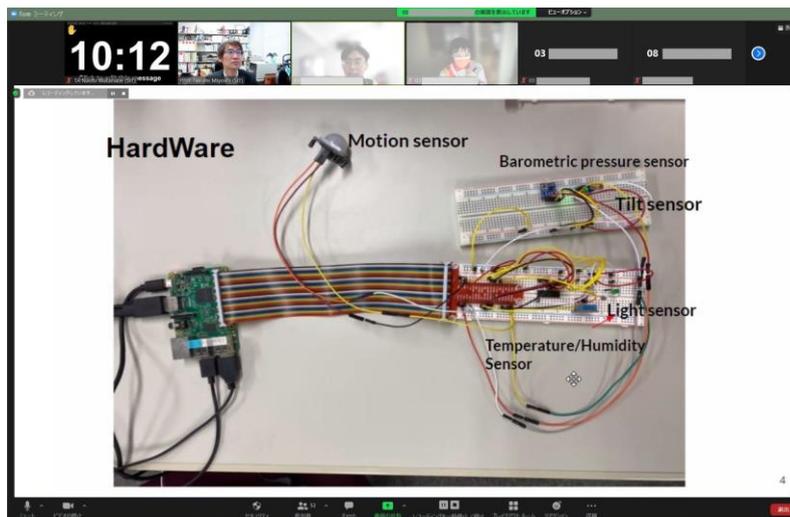


図1 オンラインプレゼンテーション

ネットワークプログラミングと英語でのコミュニケーションスキル、そして異文化コンピテンシーの向上のための実践的なオンライン型ワークショップ。ベトナム、台湾、マレーシア、そして日本という多様性に富んだチームにおいて、創意工夫を凝らしながらネットワークソフトウェアの開発に取り組んだ。各国の参加者がそれぞれでArduino Uno、Raspberry Pi、Androidスマートフォン、各種センサキットを手元に用意した上で、同一の開発環境でインターネット上のサーバを利用したネットワークプログラミングに取り組んだ。身近な課題をグループ内で話し合った上でテーマを設定し、その解決法を立案し、プロトタイプアプリケーションを作成した。参加者全員が英語が第2言語のため、巧拙にとらわれず互いに一所懸命伝えようとする重要性を体感できるのも特徴である。ファイナルプレゼンテーション終了後には、みな達成感に満ちた表情を見せていた。



図2 センサ回路の設計(1)

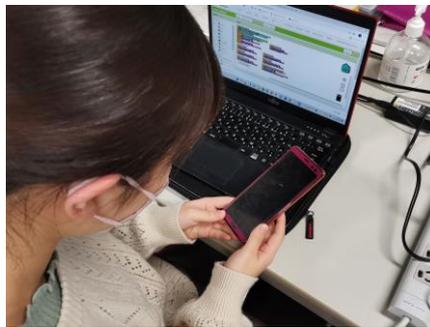


図3 センサ回路の設計(2)



図4 スマートフォンアプリの開発



図5 発表資料の作成